

CLUB NEWS

クラブニュース

- ・本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。[夏号原稿締切：8月20日]
- ・原稿を送る場合の文字数は、最大でも1行19字詰め50行程度とします。
- ・文字量が多い場合は掲載をお断りすることがあります。

原稿入稿について

- 文字数最大=19字詰め50行程度
 - 締切=掲載希望月の前々月の20日
 - 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格 Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

EVENT

イベント

第11回大阪880万人訓練に参加

Team7043 近畿支部 25-4-81 大阪府域全域と外部広域に対してアマチュア無線による非常通信訓練、Webによるロールコールを実施 開9月2日(金)13:30~14:30(延長後15時終了)、訓練開始合図が出たら運用開始 日本国内のアマチュア無線 7.050MHz、439.34MHz、145.50MHz、1294.41MHz、D-Star(個人指定JH3DMQ) <内容>RS交換+JCC&JCG+OP交換 <CQの出し方>CQ訓練CQ訓練こちらは大阪880万人訓練参加局、聞こえていましたらコールください。#ハッシュタグを用いてのWebロールコール電文伝達訓練も併用として実施(#情報、#支援、#報告、#要請) SNSを使って電文送信訓練をおこなう。電文伝達訓練受付は、JH3DMQ水谷まで ○Key: 7.050MHz SSB JF3YYE(Op JH3DMQ) 439.34MHz & 145.50MHz FM JH3IJY 武市さん枚方市、1294.41MHz AM JA3XQO 竹中さん高槻市 D-Star DV JH3DMQ 柏原市 ※JH3DMQは併用して運用の為通信不可あり。受信履歴確認後呼び出すことあり ※7.050MHzが海外局の運用で混信があれば7.123MHz+-で実施することもあり ※詳細は、Team7043ブログを確認 <http://team7043.blog.fc2.com/> 大阪府危機管理室HP参照 ※災害が予想される場合訓練中止 ※2023年9月1日第12回大阪880万人訓練にも参加予定 大阪府危機管理室HP参照 ※災害が予想される場合訓練中止 ※2023年9月1日第12回大阪880万人訓練にも参加予定 関Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体)代表 JH3DMQ水谷宗弘 jh3dmq@jarl.com

CONTEST

コンテスト

第2回IC-705ユーザーQSOパーティ

◇JARL QRP Club 10-4-151 ※コロナ禍対応版 <目的>リグ名称と運用日付をリンクさせた日程でIC-705を使用してQRP運用の醍醐味を堪能する 時7月1日(金)0:00(JST)~7月5日(火)23:59(JST) ※期間中に通常QSOをおこない、通信ポイント100pt以上を獲得すると参加賞進呈 ※期間中、同一周波数帯における同一モードによる重複通信は認めない <協賛>アイコム株式会社 <参加対象>QRP(出力5W以下)で運用する国内のIC-705ユーザー <参加条件>自局はIC-705をQRP(出力5W以下)で使用 ※JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めている ○通信相手局は国内外のアマチュア局 ※通信相手局の出力は不問 ○他コンテストのQSOも1通信としてカウントできる ※ナンバー交換は参加する他のコンテストルールによる ○開催期間中の運用場所の変更(移動運用)を認める ※自局の局免許の指定事項による ○三密の防止、STAY HOMEによる運用を推奨 ○クラブ局での運用はシングルオペとし、三密を防ぐため、複数オペやゲストオペによる運用を禁じる ○特別記念局と特別局(8N, 8J, 8Mで始まる局)が参加した場合チェックログ ※シングルオペに限る [Hz・モード] 1.9MHz帯~430MHz帯(4630kHzを除く) モードは電信(CW)、電話(SSB・AM・FM・DV) ※アマチュアバンドプランの電波の型式及び周波数の使用別による ○詳細はクラブ公式サイト(<http://www2.jaqrp.org/contests/>)に掲載

第41回電通大コンテスト

◇電通大クラブ 10-2-2 開7月16日(土)17:00~20:00(JST) 国内のアマチュア無線局、SWLをおこなう者でシングルオペに限る Hz3.5~50MHz帯のJARL主催コンテスト使用周波数帯 <電波型式>CW <部門>オールバンド部門(任意の2バンド以上を使用) ○各シングルバンド ○SWL <呼出>「CQ UEC TEST」 <コンテスト

ナンバー>RST+都府県支庁ナンバー+従事者資格コード <従事者資格コード>1アマ:H, 2アマ:I, 3アマ:L, UEC局:UEC <得点>H局:2点, 1局:3点, L局:4点, UEC局:5点 ※SWL局の得点も上記に準じる <マルチプレイヤー>異なる都府県支庁数(MM局の00もマルチとして有効) <総得点>○シングルバンド:得点の和×マルチ ○マルチバンド:各バンドの得点の和×各バンドのマルチの和 書出ログ提出:JARL電子ログ提出のフォーマットに従って8月31日(水)までに uectest-logs@jalzgp.com(自動受付)へ送信 ※メールは必ず「テキスト形式」で送ること。自動応答メールが2~3日経っても帰ってこない場合は問合せ先まで uectest-info@jalzgp.comへ <結果発表>JA1ZGPのウェブサイトに掲載 <その他>○部門コード、個人情報の取扱い、禁止事項、その他詳細はウェブサイトを確認 ○JARLコンテスト規約に準じる 公式サイト:<https://www.jalzgp.com/>

第43回KCJコンテスト

◇全国CW同好会 10-4-68 開8月13日(土)21:00~14日(日)21:00JST <部門コードおよび部門名>詳細はHP参照 Hz1.8~50MHz帯(3.8MHz帯とWARCバンドは除く) ※使用周波数はJARLコンテスト規約に準じる ※1820~1825kHzでCQを出す国外局を呼出す場合のみ使用できる <電波型式>CW <交換ナンバー>○国内局:RST+運用した都府県地域の略称(HP参照) ○国外局:RST+CQ Zone番号 <得点>バンドごとに付与 ○国内局:国内局との通信1点, 国外局との通信2点 ○国外局:国内局との通信2点, 国外局との通信1点 <マルチプレイヤー>バンドごとに付与 ○国内局:異なる都府県地域数+CQ Zone数 ○国外局:異なる都府県地域数 <総得点>バンドごとに集計した得点の合計×バンドごとに集計したマルチの合計 詳細はHP参照 ○HPから提出(推奨) ○電子メールで提出:2022kcjtest@kcj-cw.com ※電子メールの件名はコールサインのみ ○郵送:〒562-0011 大阪府箕面市如意谷4-6-5-904 中村孝行(JO3MQY)宛 開8月29日(月)郵送も必着 <ロ

グ照合>提出されたログを相互に照合する。相手局のログが提出されていない交信は無得点 <結果発表><表彰><表彰状><参加証><同記念品><禁止事項><詳細はHP参照 <失格>電波法令および当規約に違反、秩序を著しく乱したとKCJコンテスト委員会が判断した場合<異議申立て>速報順位に異議のある場合は具体的な証拠を添えて、到着後5日以内に下記の連絡先アドレスへ申出る <連絡先>質問、電子メールの不達などの連絡先アドレス: 43kcj-qstn@kcj-cw.com [都府県/地域名の略称] 詳細はHP参照 <https://kcj-cw.com/>

第4回FT-817(ND), FT-818NDユーザーQSOパーティー

◇JARL QRP Club 10-4-151 ※コロナ禍対応版 <目的>リグ名称と運用日付をリンクさせた日程でFT-817シリーズを使用してQRP運用の醍醐味を堪能する ※FT-817シリーズとはFT-817, FT-817ND, FT-818NDを指す **時**8月13日(土)0:00(JST)~8月21日(日)23:59(JST) ※期間中に通常QSOをおこない、交信ポイント100pt以上を獲得すると参加賞進呈 ※期間中同一周波数帯における同一モードによる重複交信は認めない <協賛>八重洲無線株式会社 <参加対象>QRP(出力5W以下)で運用する国内のFT-817シリーズユーザー <参加条件>◇自局はFT-817シリーズをQRP(出力5W以下)で使用 ※JARLはQRPを空中線電力5W以下と定めている ○交信相手局は国内外のアマチュア局 ※交信相手局の出力は不問 ○他コンテストのQSOも1交信としてカウントできる ※ナンバー交換は参加する他のコンテストルールによる ○開催期間中、運用場所の変更(移動運用)を認める ※自局の局免許の指定事項による ○三密の防止、STAY HOMEによる運用を推奨。当クラブ局以外のクラブ局の運用はシングルオペとし、三密を防ぐため、複数オペやゲストオペによる運用を禁止。特別記念局と特別局(8N, 8J, 8Mで始まる局)の参加はチェックログ(シングルオペに限る) [Hz・モード] 1.9MHz帯~430MHz帯(4630kHzを除く)。モードは電信(CW)、電話(SSB・AM・FM) ※アマチュアバンドプランの電波の型式及び周波数の使用区別による ○詳細は公式サイト(<http://www2.jaarp.org/contests/>)に掲載

第7回ACC2022マラソンコンテスト

◇インターナショナルアワードチェイサーズクラブ(ACC) 10-4-139 **時**8月22日(月)00:00~8月28日(日)

23:59 <対象>国内外の個人アマチュア局(社団局とSWLは除く) ※ACCクラブ局JN1YMP・JN1ZGI・JI2YZV・JE4YOLは個人局と同様に参加できる **注**WARCバンドを除く全バンド ※バンド、モードごとの部門は設けない <呼出方法>○電信「CQ ACC TEST」 ○電話「CQ ACC コンテスト」 <交信方法>通常の交信でRS(T)レポート交換+ACCメンバーはMを付ける <禁止事項>○ロールコール中の交信 ○ACCクラブ局以外のマルチオペレーターによる運用 ○クロスバンド ○2波以上の同時発射 ○自局の運用情報をWebクラスターなどでセルフスポッティングまたは第三者に依頼すること ○呼出周波数の使用 注)同一局との交信は期間中を通じてモードまたは運用場所が異なっても各バンドで1回限り ※ACCクラブ局に限り、期間中に前日までと異なる都道府県または振興局(支庁)で運用すれば別扱い。運用地の変更は自由 ※移動の場合は運用地の市郡区町村コードナンバー等をログシートの備考欄に記入 <得点>ACCメンバー局との交信10点、一般局との交信1点、コールサインにAまたはCが含まれていれば+10点(一般局同士の交信可) <マルチプライヤー>運用日数(最大7日) <チェックリスト>交信局数が100局以上はチェックリストを提出 <必要条件>ACCメンバーとの交信を3局以上含み、交信局数が5局以上 **電**○郵送:JARL形式のサマリーシート・ログシート(A4判)または同形式 ○参加証希望の場合はSASE(定形最大の長3封筒に宛先を記入して84円切手を貼付)を同封 ○Eメール:JARL形式でメール本文に貼付、またはTXT形式かCSV形式を添付ファイル。メールの件名(サブジェクト)は提出局のコールサインを半角英数字。Eメールで提出した局には参加証を添付pdfファイルで送る ○提出書類の不備、虚偽、交信局数が100局以上でチェックリストなしは失格 **電**9月30日(金)必着 **申**郵便:〒156-0053 世田谷区桜 1-50-6-201 JK11IU 石川 邦晴 [Eメール]jk11iu@jarl.com ○詳細はHP <https://www.jarl.com/acc> 参照

JLRS第51回パーティーコンテスト

◇Japan Ladies Radio Society (JLRS) 10-4-2 <目的>YL局の各バンドでのアクティビティ増進と各局との交流を深める **時**○電話:9月24日(土)12:00~9月25日(日)12:00(JST) ○電信:10月1日(土)12:00~10月2日(日)12:00(JST) **電**全世界のアマチュア無線局 ※社団局、記念局との交信は有効ですが、チェックログ **電**1.9~1200MHz(WARCバンドを除

く) ※1.9~430MHzはJARL制定コンテスト周波数帯に準じる <部門>OM, YLの電信、電話各2部門 ※電信、電話は別々に申請 <条件>同一場所からの運用 ※電信と電話で異なる場合は可 ○JLRSメンバー(DXメンバー含む)を1局以上含む ※メンバー局を含まない場合と社団局は、チェックログ ※OMどうしの交信は無効 <呼出>○電話:OM「CQYL」YL「CQコンテスト」 ○電信:OM「CQ YL TEST」YL「CQ YL TEST」 <交信方法>○ナンバー交換 OM:RS/T+001より始まる連続番号 YL(メンバー外):RS/T+2001より始まる連続番号 JLRSメンバー(DXメンバー含む):RS/T+5001より始まる連続番号 ○バンドが異なっても連続番号を続けて送る ○バンドが異なれば同一局との交信は有効 <禁止事項>クロスバンド(モード)、レベーターによる交信、ゲストオペによる運用 <得点>○OM局:メンバー局5点、メンバー外YL局1点 ○YL局:OM局1点、YL局5点 <マルチプライヤー>各バンドで交信した局の異なるプリフィックスの総数(JA1, JE1, JF1, 7K3等) <総得点>各バンドで得た得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 **電**○電子ログ:できればJARL形式のSUMMARYSHEET VERSION=R1.0でお願いします ○紙ログ:サマリーはJARLの様式に準じる、参加部門を明記 ○ログはバンドごとに、マルチはプリフィックスで記入(JA1等) ○参加証(ステッカー)希望の場合はサマリーの意見欄に明記 ○Eメールアドレスをお持ちの方はできるだけ記入(連絡用) **電**〒182-0016 東京都調布市佐須町1-3-29 松崎美智子 JI1SXB Eメール受付可 jk11sxb.log@kpe.biglobe.ne.jp <賞>○各部門1位~3位に賞状 ○参加賞(ステッカー)は部門ごとに発行 **電**ステッカー:1枚100円(切手)+SASE(返信用封筒に定形料金の切手貼付、2部門の方は2枚分同封) **電**jk11sxb@jarl.com **電**10月20日(木)消印有効 <順位表>ステッカーと同封(順位表のみ希望の方はSASEにて請求) <その他>規約、メンバーリスト希望の方は9月1日以降にSASEにて請求

第19回雑コンテスト入賞者

◇Japan Ladies Radio Society (JLRS) 10-4-2 **電**2022年3月3日実施 丸数字:順位 【OM部門】①JE3VRJ ②JI1UPL ③JR6CSY 【YL部門】①JQ1ARQ ②JF1UOX ③JK2EJ/Ø

2022JAG QSOパーティー(WARCバンド部門)

◇ジャパン・アワードハンターズ・グルー

ブ(JAG) 11-4-12 ④一般局同士の交信も有効 ④7月9日(土)12:00~10日(日)17:59JST ④10/18/24MHz帯 ④すべてのアマチュア局、SWL<参加部門>会員局、一般局を以下の3各部門 ○電話部門 ○電信部門 ○デジタル部門 各部門別々にエントリー可 ※最高で3部門 <交信相手>○会員局・一般局:全アマチュア局 ○SWL:会員局がおこなっている交信の受信 ※同一局の連続受信は不可 <コンテストナンバー>RST+会員番号、一般局はRSTのみ <呼出>○電話「CQ JAGパーティー」○電信「CQ JAG PTY」 ④JARL形式のログ ○サマリー参加部門には以下のように記入 ・コードナンバー欄:会員番号 ※一般局は空欄 ・名称欄:例)「会員・電話」「会員・電信」「会員・デジタル」「一般・電話」「一般・電信」「会員・SWL・電話」等 <賞>QSOパーティーステッカーを発行。10局以上と交(受)信した書類提出者にステッカーを発行 ○サマリー意見の欄に「ステッカー希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台紙希望」のいずれかを朱書き ○ステッカーを希望する場合は、住所・氏名を記入し84円切手を貼った返信用封筒を同封 ○ステッカーとステッカー台紙の両方を希望する場合は、宛名ラベル(手書き可)と切手160円分を同封 ④8月1日(月)消印有効 ④郵便:〒286-0036 成田市加良部4-22-4-103 伊南栄治方 JAGパーティー事務局 ○Eメール:jm1atf@jarl.com <その他>書類提出のみ(ステッカーなど不要)は、メールによる書類提出を受付。提出先のアドレスまで。ファイルを添付する場合、txt形式またはcsv形式 ○サマリーシート・ログは、マルチ、得点欄が空欄でかまいませんが、サマリーシートの交信局数欄は記入

第74回 オール横浜コンテスト

◇日本アマチュア無線連盟・横浜クラブ 11-1-5 ○協賛:YokohamaDXClub ④7月17日(日)05:00:00~06:59:59(JST) ④日本国内のアマチュア無線個人局(クラブ局、ゲストOPは不可) ④28MHz帯 ※JARL主催コンテスト周波数に準じる <参加部門>エントリーは次のどれか1種目 ○市内電信電話(CM) ○市内電信(CW) ○市内電話(CP) ○市外電信電話(XM) ○4種目と別に複合参加として一般団体対抗を設ける ※複数参加の場合のみエントリーを認める。クラブ対抗に参加の局は統一したクラブ名を「登録クラブ対抗」欄に明記 <呼出方法>○電信「CQ YC test」 ○電話「CQ 横浜コンテスト」 <コンテストナンバー>RS(T)+区コード番号 <交信相手>全ての参加局との交信が有効 ※市

外局は横浜市内局と1回以上交信 <得点>完全なる交信において次の得点(ボーナス局「JA1YCS」との交信は5点) ○市内局:市内、市外局との交信は電信3点、電話2点、同一局との電信、電話の交信を有効 ○市外局:市内局との交信は電信3点、電話2点、市外局同士の交信は電信、電話1点 <マルチプライヤー>横浜市内局:行政区+市外(最大19マルチ) ○市外局:市内行政区(最大18マルチ) ※市外局同士の交信はマルチ「00」にならない <総得点>得点の和×マルチの和 <送信出力>○昨今の電力事情等を考慮し最大送信出力を200Wに制限 ○省エネを推奨するためQRP賞を設ける ※送信出力5W以下の局が対象、サマリーに送信出力を明記。QRP符号の送付は不用 ④郵送:7月28日(木)当日消印有効 Eメール:7月28日23:59 <情報公開>結果公表にコールサイン、氏名、運用場所も記載、了承のうえ参加されたい <結果送付>サマリーにEメールアドレス記載局、Eメールアドレスのない希望者はSASE(94円)同封 <表彰>市内電信電話、市内電信、市内電話、市外電信電話、クラブ対抗の各部門上位3位まで表彰、新人賞、QRP賞、特別賞 【区コード番号表】 鶴見区01 神奈川区02 西区03 中区04 南区05 保土ヶ谷区06 磯子区07 金沢区08 港北区09 戸塚区10 港南区11 旭区12 緑区13 瀬谷区14 栄区15 泉区16 青葉区17 都築区18 市外00 ○注意事項およびその他詳細はクラブHP(<http://yh7388.web.fc2.com/>)または国内コンテストカレンダーをご覧ください

第4回 レインボーコンテスト入賞者

◇筑南アマチュア無線クラブ 14-4-32 ④2022年3月1日~3月10日 実施丸数字:順位 【全国一般局部門】OM ①JR1DTN ②JH10TD ③JK3BCH OM・エリア別(1位のみ)1エリアJE1HNL 2エリアJF2KRAH 3エリアJA3MVP 5エリアJE5BNF OM・末尾7番局 7番JF11ZZ 17番JR1MHN 27番JK1SZX 【全国メンバー局部門】OM ①JM1ASM OM・エリア別(1位のみ)1エリアJQ1LYL 3エリアJO3RUL OM・末尾7番局 7番7N1PFW

第41回 大阪2mSSB愛好会 マラソンコンテスト

◇大阪2mSSB愛好会(JL3YBS) 25-4-71 ④9月7日(水)00:00~9月14日(水)23:59(8日間) ④144MHz帯(幅広く使いましょう) <モード>SSB ④全国のアマチュア無線・個人局(社団局は除く) <部門>○大阪2mSSB愛好会会員の部 ○一般の部 <交信方

法>○呼出:CQ大阪マラソンコンテスト ○通常の交信(相手局は個人局に限る)でコールサイン・RSレポートの交換が完全なもの ○大阪2mSSB愛好会会員局はRSレポートの後にメンバー(M)をつける ○コンテスト期間中の移動運用は日本国内可 <得点>メンバー局:5点 一般局:1点 <マルチプライヤー> 運用日数(最高8日間) <得点計算>交信局数×合計得点×運用日数 ④○ロールコール中の交信は無効 ○同一局との交信は期間中一回のみ有効 ○交信局の中に最低1局メンバー局を含む ○失格は大阪2mSSB愛好会コンテスト規約に違反した局 ○同一人が2つ以上のコールサインを有する局はコンテスト期間中の運用は同一コールサイン ※送受信とも同一人の複数コールの運用(ログ計上)は認めない ④○JARL制定のログ・サマリーシート(若しくはこれに準拠したもの)に所定の事項を記入 ※電子申請は受付けられない(書類のみ) ○100局以上交信の局はチェック・リストを提出 ○コンピューター打ち出しの書類も形式はJARLに準拠 ○結果表を希望する局は、返信用封筒(住所、氏名、呼出符号、郵便番号を明記して84円切手を貼った定形封筒)を同封 ④10月5日(水)(当日消印有効) <表彰>○大阪2mSSB愛好会会員の部、一般の部 ○上位入賞局、特別賞受賞局は4月開催の当愛好会総会で表彰。飛賞あり ④〒531-0074 大阪市北区本庄東3-7-1-806 坂田 與 則(JO3TAP) Eメール jo3tap@jarl.com <その他>コンテスト結果速報は「大阪2mSSB愛好会」HPに掲載 ④<http://www.jarl.com/osaka2m/> ○コンテストに参加しコンテストログを提出した局は、来年4月1日~4月7日開催の「第16回3エリア2mSSBコンテスト」のBマルチに加点できる

2022年度第33回 広島アクティブコンテスト

◇広島2mSSB愛好会 35-4-10 ④アマチュア無線の活性化を促進し、アマチュア無線局との交流を図る ④9月10日(土)00:00~19日(月/祝)23:59までの10日間 ④国内で運用するアマチュア局 ④144MHz、SSBのみ <交信方法>○通常の交信で相互のコールサイン、RSレポート、QTHの交換を完全におこなう ※ロールコール、オンエアミーティングの交信は不可 ○期間中の運用地については免許状の範囲内であれば特に限定しない ○メンバー局はRSレポートの末尾にM(メンバー局)をつける <得点>メンバー局との1交信2点、一般局との1交信1点(メンバー局交信総数×2+一般局交信局数×1) とともに日付が変われば複数回可 ※有効交信は個人局のみ <マルチプライヤー>交信日数(MAX10

日) <総得点>得点×マルチプライヤー
<失格事項>○当コンテスト規約に違反した局
○提出締切を過ぎて書類を提出した局
○提出書類に関して事務処理が煩雑する要求をおこなった局(提出前の問合せは含まない)
<表彰>○メンバー局の部と一般局の部に分けて表彰
○表彰は2023年3月に開催される当愛好会の総会にて
○表彰対象者はメンバー局の部1~3位、一般局の部1~3位
○参加賞はメンバー局の部20局、一般局の部30局まで送付
○副賞と参加賞は12月上旬に発送。県外メンバー局が1~3位に入賞した場合には記念品を贈呈
○各部の入賞者にはコメントをお願いします
■○JARL 制定のサマリーシート(準拠書式可)を使用、良心

に恥じない記入をし、署名捺印
○Eメールで提出の場合期間中の交信局との得点計算を記入し署名
■10月15日(土)当日消印有効
■申○郵送:〒731-3363 広島市安佐北区安佐町くすの木台29-1 藤井 延 昭(JE4HDZ)
○Eメール: je4hdz@jarl.com

AWARD アワード Japan Island Awardの 発行終了について

◇JARL つしまクラブ 42-1-3 ◇
1977年から発行してまいりました、Japan Island Award を諸事情により、

下記で終了します
○2022年12月31日までの交信で終了
○申請受付: 2023年6月30日まで
○クラス: 50・100・200・300・全島・全島特別
※各クラスに達してなくても、申請があればアワードを発行(例)285島のカード取得で、リストに285島とあれば、アワードには285島と記載
○申請は50島からとなっておりますが、50島未満も申請があればアワードを発行(例)48島で申請があれば48島で発行
長い間、JIAの交信をさせていただきありがとうございました。JARL つしまクラブが発行しております、朝鮮通信使400周年記念アワードも、2022年12月31日までの受付で終了します

会員の情報広場

QSP

イベント

第22回全国ネットワーク 非常通信のための 非常通信訓練ロールコール

Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体) 災害に備え、情報収集の訓練と防災・減災の意識高揚を目指します
■時9月4日(日)08:00~12:00
■資日本国内のアマチュア無線局
■電7MHz~1200MHz 7.050MHz(仮対策本部)7.123MHz(予備)
<内容>7.050MHz SSB 08:00~09:00 JARL 鹿児島県支部関係者、鹿児島県局、JA8局、防災関係者優先QRP/BATT 運用者、Team7043メンバー09:00~11:00 一般局(エリア指定あり)10時通信訓練開始SSB, CW, AM, FM, D-Star, Wires-X (#20740, #22281, #29999), PSK31 日本語<交信方法>RS(T)交換+JCC+JCG+OP+(簡易電文)<呼出方法>SSB/FM/AM/DV/PSK 日本語「CQ訓練, CQ訓練」CWの場合「CQ KUNREN CQ KUNREN」○当日7.050MHz非常通信周波数運用が重なる場合、開催日1カ月前までにTeam7043代表JH3DMQ水谷まで連絡。検討します ※突然の割り込み運用は対応できない
○Webロールコール同時併用(SNSを使って電文伝達訓練を実施、Team7043推薦電文公式に基づく、詳細はTeam7043ブログで公開)
○電文受付アドレスは下記Eメー

ルにて ※無線機がない、そのバンドに出られないと言われる方も電文伝達訓練ができます。ぜひ参加ください。詳細は、Team7043ブログ(<http://team7043.blog.fc2.com/>)参照。当日のタイムテーブル(案)は既に公開 ※災害が予想される場合は訓練中止。当日は、7.050MHz非常通信周波数を空けていただけますよう協力をお願いします。次回2023年3月5日第23回非常通信訓練ロールコールを予定
■電Team7043 JH3DMQ 水谷宗弘
■電jh3dmq@jarl.com

コンテスト

第35回エスカルゴ6mCW コンテスト

◇エスカルゴ(SCALG) 本規約はJARL NEWS掲載字数制限のため、規約の全文ではありません。HP <https://scalg6mcw.web.fc2.com/index.html>で規約の全文を確認したうえで参加ください
■時7月18日(月/祝)10:00~12:00(JST/時報まで)
■資部門別に国内のアマチュア個人局、社団局、SWL ※社団局はビギナー、シニアのうちいずれかの部門で、かつシングルオペに限る
<使用電鍵>縦振電鍵またはエスカルゴ縦振電鍵定義(電鍵操作者が電鍵を押している時間と送信機から搬送波が連続して出力される時間が、一対一になるもの)に合致した代用品に限る
■電50MHz <モード>CW <参加部門>番号、名称:次の①~⑦のいずれか一つの部門
①固定局 ②固定局QRP ③移動局 ④移動局QRP
⑤ビギナー局(CW従免初取得日が前回開催日2021年7月22日以降取得の局)
⑥シニア局(開催日に満70歳以上の局)
⑦SWL <呼出方法>「CQ SC TEST」<コンテストナンバー>RST+CW従免初取得年(西暦の下2ケタ)<得点>完全な交信で1点 SWLは受信で1点 <総得点>得点×マルチの数
■次のいす

れかの方法で提出
○郵送: サマリー、ログとともに記入項目は総て手書き。JARL主催コンテスト用サマリーシート、ログシートに限る
○電子メール: JARL コンテストで一般的に受付している形式で、件名に、コールサイン、本文内にログのテキストファイルを貼付ける
■電○郵送: 〒351-0101 和光市白子2-27-52 中澤方 エスカルゴ コンテスト係
○書類受付専用アドレス scalgcw@gmail.com
へ ■電8月1日(月)消印有効(電子メールは23:59:59JST)
■電不明な点はSASE同封で提出先に、7月12日(火)必着のこと(電子メールでの質疑応答はおこなわない)

第42回2mSSB岡山愛好会 マラソンコンテスト

◇2mSSB岡山愛好会 資アマチュア無線局(個人局に限る)
■時9月10日(土)00:00~9月18日(日)23:59
■電144MHz(SSBモードに限る)
<得点>○通常のQSOにおいて、コールサイン、RSレポート、QTHの交換が完全なもの
○岡山愛好会メンバー局との交信5点、その他の局との交信1点
<マルチプライヤー>○岡山県内の交信した市郡区の数(MAX28ポイント)
○コンテスト参加日数(MAX9ポイント)
<総得点>得点合計×マルチ合計(市郡区+日数)
<条件>○移動運用可(同一県内)
○個人局を対象としメンバー局、岡山県内局との交信は日付けが替わると得点
○一般局がメンバー局と交信した場合1回目は5点となるが2回目以降は1点
○同得点の場合はメンバー局が多い方を上位
○県外メンバーとの交信は市郡のマルチに代用できる(1局1回のみ)
○コンテストログ、サマリーシートはJARL 制定の用紙がそれに準じるもの
○100局を超える場合重複チェックリストの添付
<表彰>下記入賞局を次期総会の会場で表彰
○優勝(最高得点者)、県内参加局で2位まで
○県外参加局で上位局から特別賞
○ログ提出局

全員に参加賞 ○岡山県内を移動サービスし、ログ提出、総会に出席した局に記念品
☎ 郵送：〒712-8051 倉敷市中畝5-9-35 白神和雄 [Eメール] je4lps@jarl.com
📧 10月31日(月)必着 ※締切日後に到着したものは無効

第32回県北430CQ大会

◇県北430CQクラブ(JE7YGX) 📅9月2日(金)18:00~4日(日)21:00までの3日間 📍国内で運用するアマチュア無線局 📻430FM(F3E) ※CQコンテストなどの呼出しはしない <移動範囲>移動地変更制限なし <通信相手>国内のアマチュア無線局 <得点>完全な通信で1点(コールサイン、シグナルレポート、運用場所など) ○同一局とは日付が変わればマルチも得点も加算 ○YGXや個人局との通信は最大3回まで可 <マルチプライヤー>福島県を除く都道府県:1点、福島県内の市町:1点、村:2点、JE7YGXとの通信:2点 ※都道府県、福島県内市町村マルチは1回のみ有効 <総得点>通信局数(得点)×マルチの合計 <ギネス賞>自己申告制 ○DX賞(通信相手との直線での最長距離) ○最多マルチ賞 ○その他自己申請可 ※面白い運用場所、0.1Wで運用通信、ジェットコースターから運用、YL局とたくさん通信した、

観覧車から通信とかその他なんでも可、意見欄に明記 <無効通信>クロスバンド通信、レピータ使用、ブレークイン、ダイレクトコール、デジタル通信 <表彰>3位まで賞状と記念品、ギネス賞は賞状のみ ○特別表彰、福島県内の市町村30以上と通信達成された局へ記念品(59市町村) ※賞状、記念品は郵送 📍○JARL形式ログシートサマリーシート ○ギネス賞参加局は該当通信欄に朱印し内容を意見欄に記入 ○福島県市町村30達成局も意見欄へ朱印 📍花井好光 〒969-1617 福島県伊達郡桑折町陣屋76 📧10月3日(月)当日消印有効厳守 ※花井まで手渡し可 📍花井 Eメール: ji7fyk@jarl.com <結果発表>10月25日以後予定。サマリーシートにメールアドレス記載局にはメールにて、クラブHPにも掲載 ○今年度のアイボール会は新型コロナウイルス蔓延のため中止

2022年第33回 全国高等学校アマチュア無線 コンテスト

◇全国高等学校アマチュア無線連盟 📍マルチオベ種目を含めて開催します。マルチオベ種目に参加される際には、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、手洗いの徹底・マスクの着用、ソーシャルディ

スタンスの確保、密閉・密集・密接となる行動を避けるよう、参加者は各自注意を払ってください。緊急事態宣言等が発令された場合の対応については、開催2週間前に公式ウェブサイトでご告知します。詳しくは公式HPでご確認ください 📅7月18日(月/祝)13:00JST~16:00JST 📻7/21/50/144/430MHz帯 <電波型式>CW・SSB・AM・FM 📍国内・国外のアマチュア局、SWL <ルール>「呼出方法」「コンテストナンバー」「得点」「マルチ」「総得点」「部門」「注意事項」等の詳細については、公式HPで確認または問合せ先まで「高校コンテストルール希望」と朱書きしてSASE同封のうえ、申込み 📧郵送7月30日(土)消印は有効、電子ログ8月2日(火)24:00までに必着 📍○郵送:〒082-0051 北海道河西郡芽室町東1条南7丁目5-8 正村琢磨「高校コンテスト」係まで ※「高校コンテストログ在中」と朱書き ○電子ログ:形式はJARL主催コンテストの電子ログと同一様式。作成したデータをテキストメールとして次のアドレス(koukoucontest@gmail.com)に送信。サブジェクトは半角英数字で提出局のコールサイン 📍提出先までSASEかEメール 📍公式HP <http://hstest.mg-sci.com/>

コミュニティFM放送局「FMぱるるん」で
JARLの情報番組を放送しています。

「Radio JARL.com」Ready to Go !

JARLでは、水戸のコミュニケーションFM局「FMぱるるん」のご協力をいただき、2019年1月からJARLのラジオ情報番組「Radio JARL.com」(ラジオ・ジャーナル・ドットコム)を放送しています。

番組では、演歌歌手の水田かおりさん(JIIBTL)をアシスタントにお迎えし、JARL高尾義則会長(JGIKTC)がパーソナリティーを務めています。JARLの話題や最新情報はもちろんのこと、アマチュア無線界の話題や情報などもお知らせしている楽しい情報番組です。

毎週日曜日 21:00~21:30の30分間の番組です。

「FMぱるるん(76.2MHz)」のカバーエリア内はもちろん、インターネットのサイマルラジオ等にも同時配信されますので、全国の会員の皆様、アマチュア無線家の皆様にお聞きいただくことができ

ます。

聴き逃したという方も、後日聴くことができます。

このJARLの楽しいアマチュア無線情報番組「Radio JARL.com」にぜひご注目ください。

- 「FMぱるるん」 <http://www.fmpalulun.co.jp/>
- ONAIR後の番組 <http://fmpalulun.co.jp/jarl/>



無線局免許の有効期間切れにご注意！
再免許手続きは有効期間満了の1年前から1ヵ月前までです。